

行政改革十ヶ条

私たちは、次に掲げることを常に意識して市役所力を高め、徹底した
行財政改革に取り組み、新しい中津川市役所へ変わります

職員力を高めます

一、サービスはわかりやすい言葉から

窓口や会議でカタカナ語や和製英語が
飛び交っている。まずは自分がわかる言葉
を使うことを心がける

二、行革のはじめの一步は自分から

行革が意識改革と言われ始め数年が経つ
できることは外部評価に頼ることなく
自分たちから改める

三、考えよう その仕事は何のため？

常に自分がやっている仕事が
何のためなのかを考えながら仕事をすれば
自然と改善案が生まれてくる

四、小さな取り組み 大きな一步

効果が小さい取り組みでも
自ら取り組みむことで意識が高まり
行革の推進につながる

五、最小の費用で 最大の効果を！

コスト意識・経営感覚を持って
簡素で効果的かつ効果的な仕事をしよう！

六、この予算 自分の家計にあてはめて

予算を執行するとき
自分の家計に置き換えることで
より慎重に執行することにつながる

チーム力を高めます

七、見直そう まずは職員の意識を

今までの存在感を捨て
常に「何故」という意識を持って
物事に取り組む

八、職場での議論・意見交換を大切に

担当者ひとりで抱え込まず
皆で考えより良いアイデアを生み出す
職場皆で共通の認識を持つことにつながる

九、ネットワークからアイデアづくり

改善改革は人と人の
コミュニケーションからできるもの
積極的な報告、連絡、相談を！

十、「自己満足」から「市民満足」へ

仕事をこなすことが目的ではなく
市民に貢献すべく常に業務の在り方を
見直すことが必要